

令和4年10月11日
愛媛大学

「メンテナンス人材の育成とインフラ空間基盤情報活用に関するセミナー」を開催

えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）と愛媛大学防災情報研究センターは、来る巨大災害への対応、防災やメンテナンスなどの建設に関わる新技術の研究、建設技術者の教育などについて研究活動を進めています。本セミナーは、それらの活動の一環として愛媛県の全ての建設技術者を対象に建設関連の技術開発や人材育成に関する内容をテーマに開催するものです。

特別講演では、「DXとインフラ情報の活用」、空間情報とAIが実現するであろう「インフラ管理の現場の未来」を学び、事例紹介では、「レーダー探査新技術」を活用した愛媛大学構内の地下埋設物調査の結果（カナン・ジオリサーチ）、「インフラメンテナンス人材の育成（愛媛大学 ME 養成講座の取組）」を紹介します。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日時：令和4年10月14日(金) 13:20～16:20
- 会場：愛媛大学南加記念ホール（対面）及びオンライン
- 主催：えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）、愛媛大学防災情報研究センター
- 共催：インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム、(一社)日本インフラ空間情報技術協会、(一社)四国クリエイト協会、愛媛大学地域防災レジリエンス研究ユニット

※ プログラム等詳細については、別紙をご参照ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学社会連携推進機構防災情報研究センター
TEL/FAX：089-927-9021
Mail：kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚（本紙を含む）

メンテナンス人材の育成とインフラ空間基盤情報活用に関するセミナー

南海トラフ地震による大規模災害、頻発する異常気象災害、今後急速に進行する社会インフラの高齢・老朽化など、地域の危機ともなり得る重大なリスクに対して建設分野が担う役割に鑑み、愛媛県の産官学が連携して今年の7月に「えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）」が設立されました。本研究会は来る巨大災害への対応、防災やメンテナンスなどの建設に関わる新技術の研究、建設技術者の教育などについて研究と情報交換を進めていく予定です。一方、愛媛大学防災情報研究センターは、平成26年度よりインフラメンテナンス技術者育成のために社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座に取り組んでいます。また平成30年度からはインフラ空間情報基盤研究部門をカナシ・ジオリサーチからの寄附講座として受け入れ、様々な研究成果を上げてきています。本セミナーは、それらの活動の一環として建設関連の技術開発や人材育成に関する内容をテーマに開催するものです。

主催：えひめ建設技術防災連携研究会（CTB-ehime）、愛媛大学防災情報研究センター

共催：インフラメンテナンス国民会議四国地方フォーラム、(一社)日本インフラ空間情報技術協会、
(一社)四国クリエイト協会、愛媛大学地域防災レジリエンス研究ユニット

日時：令和4年10月14日(金) 13:20-16:20

会場：愛媛大学南加記念ホール、Web オンライン

プログラム：

13:20-13:25 開会挨拶 愛媛大学防災情報研究センター長 バンダリ ネットラ P.

13:25-13:35 開催趣旨 えひめ建設技術防災連携研究会 教育部会長 矢田部 龍一

13:35-14:05 特別講演1

「国土交通省におけるDXとインフラ情報の活用（仮題）」

国土交通省四国地方整備局 企画部 建設情報・施工高度化技術調整官 濱田 向啓 氏

14:05-15:15 事例紹介

1. レーダー探査新技術を活用した愛媛大学構内の地下埋設物調査

(株)カナシ・ジオリサーチ 代表取締役 篠原 潤

2. インフラメンテナンス人材の育成—愛媛大学ME養成講座の取組み—

愛媛大学防災情報研究センター 特定教授 山本 浩司

15:15-15:25 休憩

15:25-16:15 特別講演2

「空間情報とAIが変えるインフラ管理の現場の未来（仮題）」

東京大学大学院工学系研究科 特任准教授 全 邦釘 氏

16:15-16:20 閉会挨拶

えひめ建設技術防災連携研究会 副会長 大野 二郎